

「未来を考える会」が公開質問状

3月15日投開票の池田町長選挙に、3名が立候補を表明しています。

現在池田町は、少子化・高齢化によつて町全体の活力と財政基盤が弱体化しつつあります。町民が求める福祉の増進、地場産業の振興など町長選立候補予定者が、今後の町政の舵取りをどのように考えているかが、注目されています。

町民有志で作っている「池田の未来を考える会」（代表 安部 誠さん）が「町長選挙にあたって立候補予定者の皆さんへの公開質問状」を作成し、2月20日記者会見で発表したとのことです。



内容は以下です。

- ① 今後の町財政は町債償還など、厳しい状況が予測されます。財政健全化に何かお考えが有りますか。
- ② 高齢化対策で何が必要だとお考えですか。
- ③ 福祉で最も急がなければならぬと思うことは何ですか。
- ④ 少子化が進む現在、町の教育を充実するための基本的な考え方、それを実現するための具体策をお考えですか。
- ⑤ 「花とハーブの里」事業推進にどんな施策が必要だとお考えですか。
- ⑥ 地産地消と地場産業の振興並びに、地域循環型産業を進める具体的な施策をお聞かせください。
- ⑦ 水害、大地震から住民を守るためにどのような施策が必要だとお考えですか。
- ⑧ 国民的かつ国際的関心事の地球環境問題に関連して、食

糧とエネルギーの自給体制が問われています。町ではどんな施策が必要とお考えですか。

⑨ 転入、移住促進に必要な施策は何だとお考えですか。

⑩ 住民の声と活力を生かし、住民の希望を反映する「住民と行政が協働する町づくり」のためには、どんな仕組みが必要だとお考えですか。

先の見えない新型コロナウイルス

“どこでも検温”の日々がつづきそうな毎日です。



中国 政府の初期対応の遅れから大変な事態となつています。

どこの国で発生してもおかしくありませんが、重要なことは初期対応ではないかと思ひます。

このウイルスがコウモリからヘビなどに感染し、そこか

「池田の未来を考える会」では回答内容をまとめて、町民のみなさんにお知らせするそうです。

このほかに商工会青年部と女性団体連絡協議会の共催で「公開討論会」が開催される予定です。

町長選挙を考える一つの手段としていきましょう。

牛越邦夫

ら人へと感染した疑いがあるとの報告を聞きました。

人から人へと感染していく途中で遺伝子に変異を起こすことが心配です。

予防については毎日のニュースなどで情報はあふれていますが、ではどうしたらいいのかと気になります。

まずウイルスはラテン語。

以前はビールスと言いました但现在はウイルスで統一されています。細菌（一般的に炎症を起こす菌）とは別物です。大きさは細菌の約1000分の1です。

細菌にはその菌を殺す抗生物質があり治療できますが、ウイルスには特効薬がありません。

こんなに医学がすすんでも遺伝子の世界です。ワクチンの開発を待つのみです。

予防は人からの感染を防ぐことと、ウイルスが付着しても感染しない身体にしておくことです。（免疫力をつける）

免疫力には個人差もありますが、一般的には睡眠、食事、運動で体力保持が重要です。健康な皮膚を通して感染はしません。手指を介して口や鼻、目の粘膜にウイルスが付着し、粘膜から細胞を利用して増殖しながら上気道に炎症を起こします。洋服や机など周辺に付着したウイルスは2時間くらいで死ぬとのこと。

腐った食べ物に付着し、ばい菌として増えていく細菌と違い、生き物の細胞のみに侵入して増えるウイルスをあなどることはできません。

3丁目 薄井百子

海上自衛隊護衛艦「たかなみ」

中東派遣で横須賀基地出発

緊張が高まる中東海域での「情報収集活動」のため、海上自衛隊第6護衛隊所属の護衛艦「たかなみ」が2日午前、横須賀基地を出発しました。

同艦には海自隊員208名を乗せ、哨戒ヘリコプター2機を搭載。防弾ガラスや機関銃などを追加で装備しています。

オマーン湾やアラビア海北部など3海域の公海で活動します。



たかなみ 新聞「赤旗」提供

出国行事で、安倍首相は「任務は、国民の生活に直結する極めて大きな意義を有する」と訓示しました。

地元の市民団体が基地近くで抗議行動を行い「中東派兵反対」「自衛隊員の命を守れ」「憲法を守れ」などと訴えました。

今回の派兵は、防衛省設置法の「調査、研究」に基づき、国会審議を経ずに閣議決定。バーレーンの米中央軍司令部に連絡官を派遣するなど、トランプ米政権からの有志連合構想への参加要請に事実上応えるものです。

不測の事態には「海上警備行動」を発令でき、武器使用も認められています。

政府は有志連合への参加ではないとしています。イラン側からみればアメリカと一体の敵対勢力となります。

米軍によるイラク革命防衛隊のソレイマニ司令官の殺害

議会一般質問を傍聴

質問議員はわずか5人だけ

3月に町長選挙が実施されるため、3月定例会一般質問が前倒しで2月25日開かれました。

質問に立ったのは矢口稔議員、薄井孝彦議員、服部久子議員、横澤はま議員、松野亮子議員と議長を除く11名中わずか5名だけでした。

一般質問は年4回開催される定例会で、議員がさまざまな町政の取り組みや問題点を町長に直接質問できる機会であり、議員として最も重要な役割ではないでしょうか。

巨大タンカーはすぐに止まれないし、攻撃に対抗したり逃げたりすることはできません。

戦争状態をなくさない限り、平和で安全な海にはなりません。

日本政府は、米国に自制を求める外交努力に力をつくすべきです。

渋谷見 太田勲

定期総会と新年会開催

恒例のファンクラブ主催の定期総会と新年会を、2月9日多目的研修センターで行いました。

30名近くが参加し来賓の清沢達也中信地区委員長の話に耳を傾けました。

その後、大勢の皆さんが持ち寄った料理を味わい歓談しました。参加者が日頃思っていることなど出し合い、ファンクラブのニュースや行事に対しての要望もお聞きしました。

アコーデオンの伴奏に合わせて、昔くちずさんだ数々の歌を歌い、最後はビンゴを楽しみました。